

土に「潤い」を!

ゲインウォーター®

# ニッテン 保水剤



キャベツにおける  
ゲインウォーター試験結果



- 特長**
- 液状なので、土にまくだけで浸透していき、保水力・保肥力の高い土壌を作ることができます。
  - ゲインウォーターを処理すると、乾燥条件でも初期生育促進、収量増加が期待されます。
  - 殺菌剤、殺虫剤、液体肥料などとの併用も可能です。

**性状**

成分	吸水量	pH	塩基置換容量
ポリアクリル酸ソーダ	80~120ml/g乾質量	中性 (6.5~7.5)	約700ミリ当量/100g乾質量

発売元



てんさい  
日本甜菜製糖株式会社

紙筒事業部

札幌営業所 〒060-0003 北海道札幌市中央区北3条西4丁目 ☎ 011-261-6142

仙台営業所 〒984-0042 宮城県仙台市若林区大和町3-5-10 ☎ 022-788-1565

東京営業所 〒108-0073 東京都港区三田3-12-14 ☎ 03-6414-5536

関門営業所 〒800-0063 福岡県北九州市門司区大里本町1-2-1 ☎ 093-382-5532

URL: <http://www.paperpot.jp/> E-Mail [paperpot@nitten.co.jp](mailto:paperpot@nitten.co.jp)

お求めは



■ 本圃



無処理区

300倍希釈区

使用方法

■ 各種そ菜

- 育苗中期～後期：200～300倍
- 定植時：200～300倍
- 圃場灌水：50倍

■ 芝・街路樹・造園

- 標準使用量：原液を10～30倍に希釈し、30～100g/m<sup>2</sup>散布。

※使用方法は目安であり、お客様の用途・使用目的に合わせて希釈してご使用ください。

※殺菌剤、殺虫剤、肥料などと混ぜて使用しないでください。

※葉に希釈液が付着しても散水により洗い流されます。万一、可食間近の作物に使用される際は、根元散布に心がけてください。

※本書記載のデータは参考値であり、必ずしも品質や安全性を保証するものではありません。また使用量・回数は土質によって加減してください。

保水性

■ ゲインウォーター®は乾燥重量の80～120倍もの水分を吸収して蓄えるため、土壌の保水力を高めるのに役立ちます。

■ 圃場容水量の比較 (%)

培地	砂土	砂壤土	バーミキュライト	水苔	ポリアクリル酸ソーダ
圃場容水量	約11	約28	約370	約490	8,000～12,000

保肥性

■ ゲインウォーター®は普通土壌の約50倍の保肥性（塩基置換容量）を有しています。よって、土壌の保肥力を高めるのに役立ちます。

■ 塩基置換容量の比較（ミリ当量/100g乾重量）

培地	普通土壌	ゼオライト	ベントナイト	バーミキュライト	パーライト	ポリアクリル酸ソーダ
塩基置換容量	～8～	120～130	80～100	50～90	0	700

